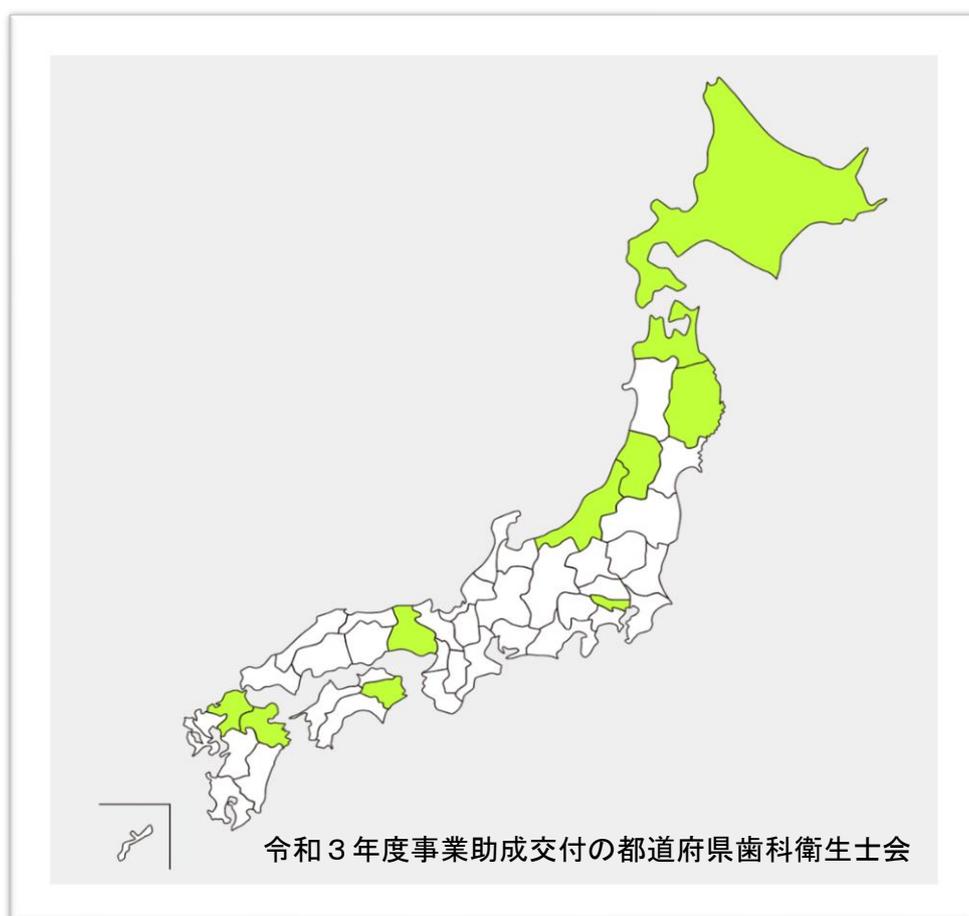


令和3年度  
地域歯科衛生活動事業助成実施報告書



令和4年4月  
公益社団法人日本歯科衛生士会  
地域歯科保健委員会

## 令和3年度 地域歯科衛生活動事業助成交付要項

### 1 目的

地域住民の歯科口腔保健の向上に関する事業をより一層推進するため、申請団体等の地域歯科衛生活動に対して30万円を上限として助成金を交付する。

本助成は「歯科口腔保健の推進に関する法律」の制定・公布（平成23年8月10日）を記念し、平成24年度から実施する。

### 2 対象団体

- (1) 「地域歯科衛生活動」事業を主催事業（共催等含む）として実施する都道府県歯科衛生士会。
- (2) 日本歯科衛生士会が指定する対象事業を、主催事業（共催等含む）として実施する団体または関係機関。

### 3 対象事業

地域住民の歯及び口腔の健康づくり、生涯を通じた歯科疾患の予防、口腔機能の維持・向上等、歯科口腔保健の推進に寄与する事業であること。

事業項目は、次のいずれかに該当するものとする。

- (1) 母子歯科保健に関する事業
- (2) 学校歯科保健に関する事業
- (3) 事業所歯科保健に関する事業
- (4) 成人歯科保健に関する事業
- (5) 障害(児)者歯科保健に関する事業
- (6) 高齢者・要介護高齢者の歯科口腔保健に関する事業
- (7) 食育推進に関する事業
- (8) 多職種連携・協働による歯科口腔保健・口腔ケア推進事業
- (9) その他歯科口腔保健の推進に関する事業

### 留意事項

(注1) 事業の実施内容及び実施方法が他の地域においても応用できるものであり、かつ普遍性の高いものであること。

(注2) 同一事業の申請は3年を限度とする。

(注3) 事業の成果について、歯科衛生士会より、会報等に報告できるものであること。

(注4) 事業の成果について、日本歯科衛生学会学術大会での発表、および学会雑誌への論文投稿を目指すものであること。

(注5) 事業の実施にあたり、可能な限り、地方公共団体、歯科医師会、教育機関、関連施設、関係団体等との連携協力が得られるものであること。

## 令和3年度 地域歯科衛生活動事業助成事業実施報告

令和3年度の事業助成は10都道府県会から申請があり、審査委員会による審査の結果、10都道府県会に助成金を交付しました。新型コロナウイルス感染症の影響により、やむなく事業が中止、延期になるなど計画通りの実施が困難であったという会の報告もありましたが、令和3年度の実施報告をまとめましたので、今後の事業実施の参考にご覧願います。

### 令和3年度 地域歯科衛生活動事業助成交付事業一覧

事業実施期間：令和3年4月1日～令和4年2月28日

※都道府県順に掲載

No.	都道府県会名	助成対象事業	実施事業名	助成交付支出
1	北海道 歯科衛生士会	(9)その他歯科口腔保健 推進事業	生涯を通じた口腔健康管理の推進 ならびに歯科衛生士の職業PR事 業	300,000円 ※計画変更
2	青森県 歯科衛生士会	(1)母子歯科保健事業	保育園、幼稚園の保護者に対する 歯科保健アンケート調査事業及び 保育園児・保護者の歯科保健に関 する普及啓発事業	181,572円 ※計画変更
3	岩手県 歯科衛生士会	(6)高齢者・要介護高齢 者の歯科口腔保健事業	「高齢者の保健事業と介護予防の 一体的実施+」に際しての通いの場 における歯科衛生士の参画普及啓 発事業	102,152円 ※計画変更
4	山形県 歯科衛生士会	(6)高齢者・要介護高齢 者の歯科口腔保健事業	自立支援型ケア会議助言の充実に 向けた支援事業 ～通所サービスにおける口腔ケア 充実推進事業～	171,780円
5	新潟県 歯科衛生士会	(6)高齢者・要介護高齢 者の歯科口腔保健事業	通所介護事業所での口腔機能向上 加算算定導入支援事業	200,000円 ※計画変更
6	東京都 歯科衛生士会	(9)その他歯科口腔保健 推進事業	都民向け公開講座 ウイルス感染症に関する基礎知識	300,000円 ※計画変更
7	兵庫県 歯科衛生士会	(9)その他歯科口腔保健 推進事業	お口の健康で命を守る 非常時にいかす「わたしの健口手 帳」の作成	300,000円 ※計画変更
8	徳島県 歯科衛生士会	(9)その他歯科口腔保健 推進事業	徳島県における歯科衛生士の離職 防止・復職支援システムの構築	213,270円 ※計画変更
9	福岡県 歯科衛生士会	(6)高齢者・要介護高齢 者の歯科口腔保健事業	高齢者のオーラルフレイル予防事 業	300,000円 ※計画変更
10	大分県 歯科衛生士会	(8)多職種連携・協働に よる歯科口腔保健推進 事業	地域包括ケアにおける社会資源と しての口腔ケアステーション設置 事業	300,000円 ※計画変更
			計	2,368,774円

# 令和3年度 地域歯科衛生活動事業助成交付事業報告

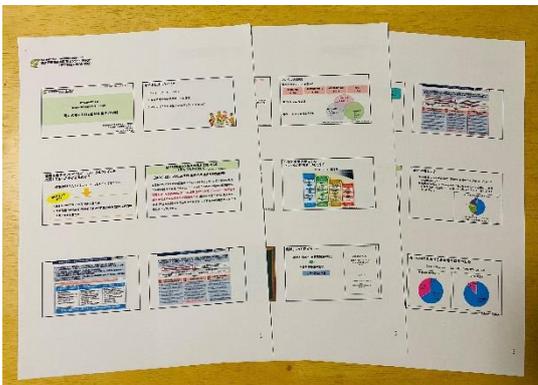
## No.1 北海道歯科衛生士会（継続1年目）

1	事業実施団体名 (共催団体名)	主催：一般社団法人 北海道歯科衛生士会
2	事業名	生涯を通じた口腔健康管理の推進ならびに歯科衛生士の職業PR事業
3	実施回数、開催日等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施日数 2日（令和3年7月9日～7月10日）</li> <li>札幌市民交流プラザ SCARTS モール</li> <li>・準備委員会の開催 14回</li> </ul> ※新型コロナウイルス感染症の影響により計画変更あり
4	対象者および参加人数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般市民（乳幼児から高齢者）並びに中高生</li> <li>展示イベント「おくちのけんこう展」実施人数 120人</li> <li>・歯科衛生士会員</li> </ul>
5	従事者等	延12人（歯科衛生士）
6	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント展示用ポスター、配布チラシの作成</li> <li>・口腔衛生ポスター、歯科衛生士職業PRポスターの展示</li> <li>・個別歯科相談、歯科保健指導、口腔ケアグッズの配布</li> <li>・会員にポスター（A4用紙）を配布し職場等での活用を周知</li> <li>・ホームページに展示ポスターを掲載</li> </ul>
7	得られた効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別相談は市民が身近で口腔の健康について相談できる機会となり、歯科衛生士として得るものが多かった。</li> <li>・ポスターをホームページに掲載し広く周知したことで、道庁や各地の保健所等から展示依頼があり、口腔健康管理の推進に繋がった。</li> </ul>
8	今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染拡大により第2回の展示開催は見合わせとなったが、状況に合わせて開催内容や方法を検討していきたい。</li> <li>・歯科衛生士の職業PRを目的に、中高生やファミリー層をターゲットにした体験型を交えての実施を検討。</li> </ul>
9	【添付資料】	

## No.2 青森県歯科衛生士会（継続3年目）

1	事業実施団体名 (共催団体名)	主催：一般社団法人 青森県歯科衛生士会 実施団体：五戸カトリック幼稚園、江渡幼稚園、 かわうち保育園、ひばりこども園、めぐみ保育園、 みゆき保育園、くらいしこども園 協力歯科：山口歯科医院、第2船越歯科医院、小林歯科医院
2	事業名	保育園、幼稚園の保護者に対する歯科保健アンケート調査事業 及び保育園児・保護者の歯科保健に関する普及啓発事業
3	実施回数、開催日等	・園児の保護者へのアンケート調査実施（6月初め～7月中旬） ・親子学習会の開催 2回（6月12日、6月19日）
4	対象者および参加人数	対象者：園児及び保護者 364人（7施設） ・保護者へのアンケート調査 364人 ・親子学習会 参加保護者等 45人（1施設） ※新型コロナウイルス感染症の影響により計画変更あり
5	従事者等	延29人（歯科衛生士実人数10人）
6	事業概要	・園児の保護者へのアンケート調査の実施 ・親子学習会の開催（歯科健康講話、歯みがき指導） ・作成パンフレット、歯ブラシ等の配布（7施設）
7	得られた効果	・保護者や保育士から直接話を聞いたことで、子どもの口腔の 発育状態を知ることができた。 ・親子一緒に歯みがき指導は、子どもの口腔状態に合った仕上げ みがきの仕方やフロスの使い方を知る機会となった。 ・歯科衛生士が指導することで、子どもの歯みがきや口腔機能 について具体的に理解することができた。
8	今後の課題	地域のう蝕減少に向け、継続した歯科保健指導の実施と、行政、 歯科医師会、歯科衛生士会との連携。
9	【添付資料】	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p style="text-align: center;">園での指導の様子</p>

### No.3 岩手県歯科衛生士会（単年度）

1	事業実施団体名 (共催団体名)	主催：一般社団法人 岩手県歯科衛生士会
2	事業名	「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」に際しての通いの場における歯科衛生士の参画普及啓発事業
3	実施回数、開催日等	・リーダー研修（オンライン研修） 1回 令和3年7月25日（日）13:00～14:00
4	対象者および参加人数	・運営スタッフ、各支部の代表、参画を希望する会員及び支部会員、ツール作成に係る多職種 ・参加者数 29人
5	従事者数等	延12人（歯科衛生士）
6	事業概要	リーダー研修（オンライン研修）の開催 場所：岩手県教育会館カンファレンスルーム 講師：東京都健康長寿医療センター研究所 専門副部長 小原由紀氏（歯科衛生士） 演題：「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」の通いの場における歯科衛生士の役割 ※新型コロナウイルス感染症の影響により計画変更あり
7	得られた効果	・国の施策を理解し、歯科衛生士が「通いの場」における専門職としての役割を認識できた。 ・研修録画を活用し、支部毎に学ぶ機会を設けることで各地域の「通いの場」の現状や実態把握が可能となり、歯科衛生士が参画するためのアプローチを積極的に行うことに繋がると期待できる。
8	今後の課題	県行政より、通いの場における歯科衛生士の参画等の「発展形」には至っていない、「派遣側の現状と課題」の調査が必要でないかという指摘があったことから、対応できる歯科衛生士の人材育成が急務と認識している。
9	【添付資料】	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">研修会の様子</p>

**No.4 山形県歯科衛生士会(継続1年目)**

1	事業実施団体名 (共催団体名)	主催：一般社団法人 山形県歯科衛生士会
2	事業名	自立支援型ケア会議助言の充実に向けた支援事業 ～通所サービスにおける口腔ケア充実推進事業～
3	実施回数、開催日等	高齢者施設訪問日数 20日(6施設) ※1施設に対して3～4回の訪問を実施
4	対象者および参加人数	・ディサービス、ディケアを行っている高齢者施設 6施設 ※対象施設は地域包括支援センターの協力により選定 ・施設利用高齢者及び介護職員 149人
5	従事者数等	・延46人(歯科衛生士実人数7人) ・その他の職種 55人(介護支援専門員、介護福祉士、理学療法士、看護師等)
6	事業概要	・施設で口腔ケアが実施されていない原因や改善方法を探るため、食前体操、食事風景、口腔ケアの流れを見学し、「口腔ケア用具」「歯みがき」「職員の関心度」について評価した。 ・評価を基に職員向け研修会の実施 ・助言、実地指導後の改善点や取組み等の再評価 ・口腔ケア用品の紹介等
7	得られた効果	・コロナ禍ではあったが、施設の理解と協力が得られた。 ・施設の口腔ケアの取組み状況について把握することはできたが、口腔ケアがあまり浸透していないことが分かった。 ・他の事業所への訪問指導についても依頼があり、事業の拡がりを感じた。
8	今後の課題	・今回の訪問で改善された施設もあるが、来年度も継続訪問が必要な施設もある。また、他にも訪問指導が必要な施設があると思われる。 ・ケア用具や消毒等について間違った知識で行っている施設が多かったことから、今後も周知が必要である。 ・栄養士の同行により、口腔と栄養の両面から指導アドバイスができることで、食事や栄養の問題が改善できると思われる。
9	【添付資料】	  

## No.5 新潟県歯科衛生士会（単年度）

1	事業実施団体名 (共催団体名)	主催：一般社団法人 新潟県歯科衛生士会
2	事業名	通所介護事業所での口腔機能向上加算算定導入支援事業
3	実施回数、開催日等	実施日数 24日
4	対象者および参加人数	・通所介護事業所 1施設 ・施設利用者とその家族、職員、ケアマネージャー 65人
5	従事者数等	延48人（歯科衛生士実人数 5人）
6	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・口腔機能向上サービススキルアップ研修（歯科衛生士対象にWeb開催）</li> <li>・利用者向け歯科保健教育の実施（3回）</li> <li>・職員向け歯科保健教育の実施（1回）</li> <li>・職員向け口腔ケア実地指導の実施（2回）</li> <li>・利用者の口腔アセスメント、口腔清掃指導の実施（5回）</li> <li>・口腔機能改善管理計画書及びケアポイントの作成（2回）</li> </ul> ※新型コロナウイルス感染症の影響により計画変更あり
7	得られた効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・口腔機能の低下や歯科治療が必要な利用者の潜在的ニーズを把握することができた。</li> <li>・歯科医療従事者がいない介護現場では、口腔健康管理の必要な利用者の把握が難しいことが分かった。</li> <li>・口腔機能向上サービスの実施に必要な計画書や記録表の作成、説明媒体、訓練プログラム等について理解が得られ、口腔機能向上算定に向け前向きに検討していくこととなった。</li> </ul>
8	今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯科医療従事者によるアドバイスが受けられる体制づくり</li> <li>・支援歯科衛生士のスキルアップの継続と拡大</li> <li>・行政等の関係機関と要介護高齢者の口腔健康管理の現状や課題を共有する機会の確保</li> </ul>
<b>【添付資料】</b>  <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>指導の様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>指導を受けた後、職員が口腔清掃介助を行う様子</p> </div> </div>		

## No.6 東京都歯科衛生士会（単年度）

1	事業実施団体名 (共催団体名)	主催：公益社団法人 東京都歯科衛生士会
2	事業名	都民向け公開講座 ウイルス感染症に関する基礎知識
3	実施回数、開催日等	実施日数 1日（都民向け公開講座）
4	対象者および参加人数	一般都民 83人
5	従事者数等	延11人（歯科衛生士10人、歯科医師1名）
6	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都民向け公開講座（Web開催）1回</li> <li>・テーマ：「ウイルス感染症の基礎知識」</li> <li>・講師：歯科医師</li> </ul> ※新型コロナウイルス感染症の影響により計画変更あり
7	得られた効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都民と歯科衛生士会との交流が持てた。</li> <li>・職能団体として根拠のある最新情報を伝えることができた。</li> <li>・事業に参加した会員の業務を通して、口腔健康管理の重要性が都民に普及浸透することが期待される。</li> <li>・新型コロナウイルスのワクチン接種にも理解が得られ、国の進める事業に寄与できた。</li> <li>・事業に周知に携わったことで、会員自身が東京都歯科衛生士会会員であることを自覚する機会となった。（アンケート結果）</li> </ul>
8	今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・案内チラシを会員及び関係団体に送付し、各会員には勤務先等に掲示してもらったが、全都民への周知には至らなかった。</li> <li>・Zoomのウェビナーを使用して開催したが、参加者が定員に達した段階で参加希望者を断らざる得ない状況となった。</li> <li>・予算的に全都民への事業周知や参加者の拡大は難しい。</li> </ul>
9	【添付資料】	

No. 7 兵庫県歯科衛生士会（単年度）

1	事業実施団体名 (共催団体名)	主催：公益社団法人 兵庫県歯科衛生士会
2	事業名	お口の健康で命を守る 非常時にいかす「わたしの健口手帳」の作成
3	実施回数、開催日等	実施日数 2日（健口手帳作成検討会議）
4	対象者および参加人数	県民及び被災者等 97人
5	従事者数等	延16人（歯科衛生士）
6	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健口手帳作成検討会議の開催 2回（R3.11/7日、R4.1/9）</li> <li>・「わたしの健口手帳」の紹介と活用の周知 災害支援歯科衛生士育成研修会（Web研修）において、支部長及び災害支援担当者に活用方法を説明（R4.4/27）</li> <li>・「わたしの健口手帳」の作成と印刷（10,000部）</li> </ul> <p>※新型コロナウイルス感染症の影響により計画変更あり</p>
7	得られた効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害支援歯科衛生士育成研修会参加者から、職場や活動の場で健口手帳の活用を期待しているとの意見が多く出された。</li> <li>・健口手帳は兵庫県歯科医師会からも高評価を得ており、歯科医療機関や歯科健診会場での活用について歯科医師会の理解や協力が期待できる。</li> </ul>
8	今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯科医療機関や行政、施設等の協力を得て、「わたしの健口手帳」の活用を全県に広げるための推進体制を整備する。</li> <li>・お薬手帳と同様に携帯し、自らのお口の健康管理能力を高めるツールとして活用する手法を県民に周知する。</li> <li>・多職種との情報共有のツールとして活用の推進を図る。</li> <li>・健口手帳の活用には、歯科医師の理解と協力が必要なことから、県内の歯科診療所に手帳の目的について周知する。</li> <li>・全県民に健口手帳を配布する予算の確保と企業等への働きかけが必要。</li> </ul>
<p>【添付資料】</p>  <p>「わたしの健口手帳」</p>		

## No.8 徳島県歯科衛生士会（継続3年目）

1	事業実施団体名 (共催団体名)	主催：一般社団法人 徳島県歯科衛生士会 共催：徳島県歯科医師会、徳島歯科学院専門学校 四国歯科衛生士学院専門学校、専門学校徳島穴吹カレッジ
2	事業名	徳島県における歯科衛生士離職防止・復職支援システムの構築
3	実施回数、開催日等	実施日数 8日 ・Web研修会 3回 (R3.9/2、10/17、12/19) ・実技研修会 5回 (R3.10/22、11/12、12/10、R4.1/21、2/18)
4	対象者および参加人数	新人歯科衛生士、会員、会員外、学生 150人 ・Web研修会 121人 (3回) ・実技研修会 延29人 (5回) ・アンケート調査対象者 120人
5	従事者数等	延33人 (歯科衛生士30人、歯科医師3人)
6	事業概要	・Web研修会の開催 3回 (講師：歯科医師) 第1回「ホワイトニングの基礎と臨床」 第2回「小児の口腔を育てるベストパフォーマンスの発揮できる身体づくりを目指して」 第3回「研究入門講座知っておきたい歯科衛生研究のイロハ」 ・実技研修会「スケーリング・TeC作成」の開催 (5回) ・アンケート調査の実施 (卒後1～2年生及び研修指導者・臨床実地指導者等講習会受講者を対象に実施) ※新型コロナウイルス感染症の影響により計画変更あり
7	得られた効果	・無料のWeb研修会や実技研修会を実施したことで、会員外にも歯科衛生士会を知ってもらえる良い機会となり、入会に繋げることができた。 ・実技研修会受講者1名が歯科診療所に就職することになった。 ・日衛講習会受講者へのアンケート調査では、受講について前向きな回答が多かったので、声掛けを継続していきたい。
8	今後の課題	・新人歯科衛生士の参加が少なかった。開催方法の検討が必要。 ・「歯科医療連携室」への相談件数が少ない状況から、周知方法を検討していきたい。 ・離職防止や復職支援の事業展開の難しさを感じた。今後は他県の取組みも参考にしていきたい。
<p><b>【添付資料】</b></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>スケーリング実習の様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>TeC作成の様子</p> </div> </div>		

No.9 福岡県歯科衛生士会（継続2年目）

1	事業実施団体名 (共催団体名)	主催：一般社団法人 福岡県歯科衛生士会
2	事業名	高齢者のオーラルフレイル予防事業
3	実施回数、開催日等	実施日数 11日 ・コミュニケーションスキルアップ研修会 1回 ・オーラルフレイル予防教室 2回（1回はYouTube 配信） ・会議の開催 8回
4	対象者および参加人数	県民、高齢者、歯科衛生士 362人
5	従事者数等	延32人（歯科衛生士）
6	事業概要	・口腔機能低下に応じて選択できるオーラルフレイル予防のアクティビティ集の作成 ・コミュニケーションスキルアップ研修会の開催（Web開催） ・高齢者のオーラルフレイル予防教室の開催 ・アクティビティ集作成、研修会、教室開催に係る会議の開催 ・「歯ミニング教室」テキストに関するアンケート調査の実施 ※新型コロナウイルス感染症の影響により計画変更あり
7	得られた効果	・アクティビティ集を作成したことで、初心者歯科衛生士でも「通いの場」でスムーズに取り組めることが期待できる。 ・コミュニケーションスキルアップ研修会で学んだ高齢者への関わり方は、今後の高齢者支援に活かことができる。 ・YouTube 配信は、多くの県民がオーラルフレイル予防について視聴できる機会となった。 ・アンケート調査により、フレイルやオーラルフレイルについての高齢者の認知度を知ることができた。
8	今後の課題	・オーラルフレイル予防に関する歯科保健指導の地域格差を縮小するための体制づくりをする。 ・テキストやマニュアル等を活用しオーラルフレイル予防の歯科保健指導ができる歯科衛生士の育成と確保。 ・口腔と全身の関係や歯科衛生士が健康寿命の延伸に貢献できることを県民や市町村に周知啓発していく。

【添付資料】



「アクティビティ集」

**No.10 大分県歯科衛生士会（継続1年目）**

1	事業実施団体名 (共催団体名)	主催：一般社団法人 大分県歯科衛生士会 共催：大分県口腔保健センター オレンジカフェ「手をつなごう」、大分県栄養士会
2	事業名	地域包括ケアにおける社会資源としての口腔ケアステーション 設置事業
3	実施回数、開催日等	実施日数 22日 ・電話相談 10回
4	対象者および参加人数	ダウン症患者、認知症患者と家族、高齢者、地域住民、他職種 実施人数 160人
5	従事者数等	延42人（歯科衛生士35人、歯科医師2人、その他5人）
6	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食支援が必要な障がい者への指導実施（ダウン症患者）</li> <li>・口腔健康管理指導、講話、歯科相談の実施（認知症カフェ）</li> <li>・電話相談の実施（10回）</li> </ul> 地域住民、介護中の家族、介護福祉士、介護支援専門員、口腔保健センター職員より相談があった。 ※単年度事業から3年継続事業に変更あり
7	得られた効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多職種連携・協働による口腔ケアステーションを機能させることで、口腔健康管理が普及し社会貢献できた。</li> <li>・地域包括ケアの機能である社会資源を創出することで、地域づくりに繋がられた。その結果、令和4年度は歯科医師会に新事務局を設置することになった。</li> </ul>
8	今後の課題	歯科衛生士会を事務局に相談事業を継続し、県内の地域ケア会議で口腔に問題のある人を抽出し、必要に応じて多職種と同行し事前事後の口腔アセスメント作成、口腔健康管理指導を行い、地域歯科保健の啓発に繋げる。

**【添付資料】**



オレンジカフェでの  
口腔健康管理指導



栄養相談